

学校教育目標

敬愛(徳)

自らを見つめ、他を思いやる中学生

窮理(知)

自ら学び、互いに高め合う中学生

実践(体)

自らを鍛え、体を大切にする中学生

目指す生徒像(重点)

敬愛 自他の頑張りを受け止め合い、自分らしさを作り出す生徒

窮理 『問い』を立て、自分のことばで発し、話し合って深める追究を楽しむ生徒

実践 一人となって考え行動し、自分の生活に『明倫の心』を構築する生徒

昨年度の学校自己評価の結果をもとに、上記の重点を設定しました。重点の達成を目指し、全職員が教育活動において取り組んでいきます。

そして「12項目の観点」によって、アンケート(生徒・職員・保護者)を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実施内容	学校評価の観点
<b>【敬愛】について</b> <b>重点目標</b> <u>互いを認め合える集団の中で自分らしさを構築する活動の充実</u> ○活動を共にする中で、互いの「らしさ」を受け止め、認め合える集団づくりを進める。 ○中学生としての「誇り」と「憧れ」を交換し、「中学生らしさ」を作り出す活動を充実させる。	1 自分や友の良いところ探し、自己肯定感を高めるエンカウンターなどを通して、自他の頑張りを受け止め合える集団にしていく。
	2 道徳や学活などの場で、自分の意見を自由に語り合う活動を通して、自分らしさを見つめなおしていく集団にしていく。
	3 音楽活動、体育活動、キャリア教育の発表等の活動等の縦割り活動を通して、上級生としての誇り、上級生になることへの憧れをもたせられるようにする。
	4 <u>上記3項目や一人ひとりに寄り添う心のケアを通して、生徒一人ひとりが居心地のよいと感じる学校になるようにする。</u>
<b>【窮理】について</b> <b>重点目標</b> <u>話し合うことで深まりや楽しさを感じさせる授業の工夫</u> ○4視点で授業づくりを継続し、話し合っで深める授業を展開する。 ①聞く・受け止める・問いをもつ ②考える・話す・伝える ③分かり合う ④考えを更新する ○ICTを活用した二中らしい学びを工夫する。 ○「わかる楽しさ」と「できる喜び」を感じる学習環境を整える。	5 学びへの関心を引き出す場面を設定し、問いをもって追究できる活動にすることで、生徒自ら主体的に学ぶことができるようにする。
	6 学習活動において友と考え合い、自らの考えを振り返る場面を設定することで、より深められた考えへと更新できるようにする。
	7 コロナによる学級閉鎖等で学校に登校できなくても、オンライン授業等を通して、生徒が学ぶ機会があるようにする。
	8 <u>上記3項目を通して、生徒一人ひとりが学習内容に対して「できた・わかった」と感じる学校になるようにする。</u>
<b>【実践】について</b> <b>重点目標</b> <u>どう行動すべきかを常に考え一人となって実践する力の育成</u> ○「中学生らしさ」を考え合い、一人一人が自覚をもって取り組む生徒会活動を支えていく。 ○目標を明確にし、日々の生活で『明倫の心』を実践する気持ちを育てる。 ○自分に向き合い、生き方を考えるキャリア教育を推進する。	9 生徒会スローガンをもとに、生徒自らが一会員としての自覚をもち、中学生らしさを意識した積極的な実践ができる生徒会活動になるようにする。
	10 地域の方から生き方を学ぶ活動や、1年時から段階的に自分の在り方を考える活動を通して、ふさわしい進路を自らが考えられるようにする。
	11 自分で考える清掃活動や学級の係活動、生徒会主体のあいさつ活動等を通して、日常生活の中でもそれを生かす姿になるようにする。
	12 <u>上記3項目を通して、今どう行動すべきかを自分で考え、主体的に実践していけるようにする。</u>